

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年10月27日(2011.10.27)

【公開番号】特開2010-258919(P2010-258919A)

【公開日】平成22年11月11日(2010.11.11)

【年通号数】公開・登録公報2010-045

【出願番号】特願2009-108558(P2009-108558)

【国際特許分類】

H 04 W 36/06 (2009.01)

H 04 W 40/02 (2009.01)

【F I】

H 04 Q 7/00 3 0 5

H 04 Q 7/00 3 4 1

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月13日(2011.9.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

リレーノードと無線基地局とが無線ペアラを介して接続されている場合に、移動局が、該リレーノードとの間で無線ペアラを設定し該リレーノード及び該無線基地局を介して通信を行っている状態から、該無線基地局との間で無線ペアラを設定し該無線基地局を介して通信を行っている状態に切り替わるハンドオーバ方法であって、

前記リレーノードが、前記無線基地局に対して、ハンドオーバ要求信号を送信する工程と、

前記無線基地局が、前記ハンドオーバ要求信号を受信すると、前記リレーノードに対して、ハンドオーバ要求確認信号を送信する工程と、

前記リレーノードが、前記ハンドオーバ要求確認信号を受信すると、前記移動局に対して、前記無線基地局にハンドオーバするように指示するハンドオーバ指示信号を送信する工程とを有することを特徴とするハンドオーバ方法。

【請求項2】

リレーノードと無線基地局とが無線ペアラを介して接続されている移動通信システムであって、

前記リレーノードは、前記無線基地局との間のUnインターフェイスを設定するための無線ペアラ機能として、物理レイヤ機能と、該物理レイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられているMACレイヤ機能と、該MACレイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられているRLCレイヤ機能と、該RLCレイヤ機能の上位レイヤとして設けられているPDCPレイヤ機能と、該PDCPレイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられているRRCレイヤ機能とを具備しており、

前記リレーノードは、前記無線ペアラ機能の上位レイヤ機能として、IPレイヤ機能と、該IPレイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられているSCTPレイヤ機能と、該SCTPレイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられているX2APレイヤ機能とを具備しており、

前記無線基地局は、前記リレーノードとの間のUnインターフェイスを設定するための無線ペアラ機能として、物理レイヤ機能と、該物理レイヤ機能の上位レイヤ機能として設

けられている M A C レイヤ機能と、該 M A C レイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられている R L C レイヤ機能と、該 R L C レイヤ機能の上位レイヤとして設けられている P D C P レイヤ機能と、該 P D C P レイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられている R R C レイヤ機能とを具備しており、

前記無線基地局は、前記無線ベアラ機能の上位レイヤ機能として、I P レイヤ機能と、該 I P レイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられている S C T P レイヤ機能と、該 S C T P レイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられている X 2 A P レイヤ機能とを具備しており、

ハンドオーバ処理に係る制御信号は、前記リレーノードの X 2 A P レイヤ機能と前記無線基地局の X 2 A P レイヤ機能との間で終端するよう構成されていることを特徴とする移動通信システム。